

PCI 対応 非絶縁型デジタル入力ボード DI-32T2-PCI



製品の価格・仕様・色・デザインは、予告なしに変更することがあります。

特長

■非絶縁 TTL レベル入力

応答速度 200nsec の非絶縁 TTL レベル入力 32 点を搭載しています。

■入力信号のすべてを割り込み入力として使用可能

入力信号のすべてを割り込み要求信号として使用でき、ビット単位で割り込み禁止/許可、および、割り込みを発生させる入力信号のエッジの選択が可能です。

■Windows/Linux に対応したドライバライブラリを添付

添付のドライバライブラリ API-PAC(W32)を使用することで、Windows/Linux の各アプリケーションが作成できます。また、ハードウェアの動作確認ができる診断プログラムも提供しています。

■ノイズやチャタリングによる入力信号の誤認識を防止するデジタルフィルタ機能搭載

ノイズやチャタリングによる入力信号の誤認識を防止することができるデジタルフィルタを備えています。すべての入力端子にデジタルフィルタをかけることができ、設定はソフトウェアで行えます。

■計測システム開発用 ActiveX コンポーネント集 ACX-PAC(W32) に対応

当社製デジタル入出力デバイスを簡単に制御できるコンポーネントに加え、計測用途に特化したソフトウェア部品集(各種グラフ、スイッチ、ランプなど)を満載した、計測システム開発支援ツールです。また、データの入出力表示が確認できるデジタルモニタなどの実例集(アプリケーションプログラム)が収録されていますので、プログラムレスでパソコン計測がすぐに始められます。

■専用ライブラリ VI-DAQ のプラグインで LabVIEW に対応

専用ライブラリ VI-DAQ を使用することで LabVIEW の各アプリケーションを作成できます。

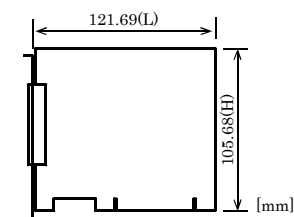
仕様

項目	仕様
入力部	
入力形式	非絶縁 TTL レベル入力(負論理 *1)
入力信号の点数	32 点(すべて割り込みに使用可能) (1 コモン)
入力抵抗	プルアップ 10k Ω (1TTL 負荷)
割り込み	32 点の割り込み入力信号をまとめて、1 つの割り込み信号 INTA を出力します。 立ち下がり(HIGH $\rightarrow$ LOW)または立ち上がり(LOW $\rightarrow$ HIGH)のエッジ(ソフトウェアで設定)で割り込み発生
応答時間	200nsec 以内
共通部	
外部供給可能電流(Max.)	5VDC 1A
信号延長可能距離	1.5m 程度(配線環境による)
I/O アドレス	8 ビット $\times$ 32 ポート占有
割り込みレベル	1 レベル使用
同時使用可能枚数	最大 16 枚
消費電流	5VDC 200mA(Max.)
使用条件	0 - 50 $^{\circ}$ C、10 - 90%RH(ただし、結露しないこと)
バス仕様	PCI(32bit、33MHz、ユニバーサル・キー形状対応 *2)
外形寸法(mm)	121.69(L) $\times$ 105.68(H)
使用コネクタ	37 ピン D-SUB コネクタ [F(雌)タイプ] DCLC-J37SAF-20L9E[JAE 製]相当品
ボード本体の質量	100g

*1 データ「0」が High レベル、データ「1」が Low レベルに対応します。

*2 このボードは拡張スロットから+5V 電源の供給を必要とします(+3.3V 電源のみの環境では動作しません)。

ボード外形寸法



外形寸法の (L) は、基板の端からスロットカバーの外側の面までのサイズです。

サポートソフトウェア

■ Windows 版 デジタル入出力ドライバ
API-DIO(WDM)/API-DIO(98/PC)
[添付 CD-ROM ドライバライブラリ API-PAC(W32) 収録]
Win32 API 関数(DLL)形式で提供する Windows 版ドライバソフトウェアです。Visual Basic や Visual C++などの各種サンプルプログラム、動作確認に便利な診断プログラムを付属しています。

<動作環境>

主な対応 OS Windows Vista、Windows XP、Server 2003、2000
主な対応言語 Visual Basic、Visual C++、Visual C#、Delphi、C++ Builder
最新バージョンは当社ホームページからダウンロードいただけます。
対応 OS や対応言語の詳細・最新情報は、当社ホームページ
<http://www.contec.co.jp/apipac/> でご確認ください。

■ Linux 版デジタル入出力ドライバ API-DIO(LNX)
[添付 CD-ROM ドライバライブラリ API-PAC(W32) 収録]
シェアドライブラリとカーネルバージョンごとのデバイスドライバ(モジュール)で提供する Linux 版ドライバソフトウェアです。gcc の各種サンプルプログラムを付属しています。

<動作環境>

主な対応 OS RedHatLinux、TurboLinux
(対応ディストリビューションの詳細は、インストール後の Help を参照ください。)
主な対応言語 gcc
最新バージョンは当社ホームページからダウンロードいただけます。
対応 OS や対応言語の詳細・最新情報は、当社ホームページ
<http://www.contec.co.jp/apipac/> でご確認ください。

■ 計測システム開発用 ActiveX コンポーネント集
ACX-PAC(W32) (別売)
本製品は、200 種類以上の当社計測制御用インターフェイスボード(カード)に対応した計測システム開発支援ツールです。計測用途に特化したソフトウェア部品集で画面表示(各種グラフ、スライダ 他)、解析・演算(FFT、フィルタ 他)、ファイル操作(データ保存、読み込み)などの ActiveX コンポーネントを満載しています。
アプリケーションプログラムの作成は、ソフトウェア部品を貼り付けて、関連をスクリプトで記述する開発スタイルで、効率よく短期間でできます。
また、データロガーや波形解析ツールなどの実例集(アプリケーションプログラム)が収録されていますので、プログラム作成なしでパソコン計測がすぐに始められます。
「実例集」は、ソースコード(Visual Basic 他)付きですので、お客様によるカスタマイズも可能です。
詳細は、当社ホームページ(<http://www.contec.co.jp/acxpac/>)でご確認ください。

■ LabVIEW 対応データ集録用 VI ライブラリ VI-DAQ (当社ホームページよりダウンロード(無償)ができます)
National Instruments 社の LabVIEW で使用するための VI ライブラリです。LabVIEW の「データ集録 VI」に似た関数形態で作成されているため、複雑な設定をすることなく、簡単に各種デバイスが使用できます。詳細、および VI-DAQ のダウンロードは
<http://www.contec.co.jp/vidaq/> を参照してください。

ケーブル・コネクタ

■ケーブル (別売)

37 ピン D-SUB 用両端コネクタ付きフラットケーブル : PCB37P-1.5 (1.5m)
37 ピン D-SUB 用両端コネクタ付きシールドケーブル : PCB37PS-0.5P (0.5m)
: PCB37PS-1.5P (1.5m)
37 ピン D-SUB 用片端コネクタ付きフラットケーブル : PCA37P-1.5 (1.5m)
37 ピン D-SUB 用片端コネクタ付きシールドケーブル : PCA37PS-0.5P (0.5m)
: PCA37PS-1.5P (1.5m)

■コネクタ (別売)

37 ピン D-SUB(オス)コネクタ 5 個セット : CN5-D37M

アクセサリ

■アクセサリ (別売)

圧着用中継端子台(M3 ネジ、37 点) : EPD-37A *1
圧着用中継端子台(M3.5 ネジ、37 点) : EPD-37 *1
圧着用端子台 : DTP-3A *1
導線用端子台 : DTP-4A *1
デジタル入出力用信号モニタアクセサリ : CM-32(PC)E *1

*1 オプションケーブル PCB37P-1.5 または PCB37PS-0.5P、1.5P が別途必要。
* 各ケーブル、アクセサリの詳細は、当社ホームページでご確認ください。

商品構成

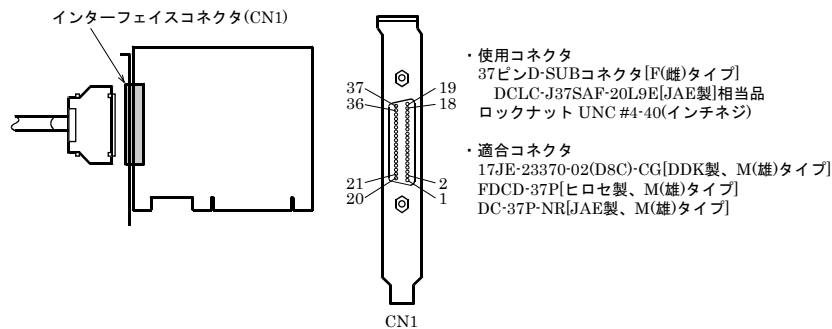
□本体[DI-32T2-PCI] …1
□ファーストステップガイド…1
□CD-ROM *1 [API-PAC(W32)]…1
□登録カード&保証書…1
□登録カード返送用封筒…1

*1 : CD-ROM には、ドライバソフトウェア、説明書、Question 用紙を納めています。

ボード上のコネクタの接続方法

◆コネクタの形状

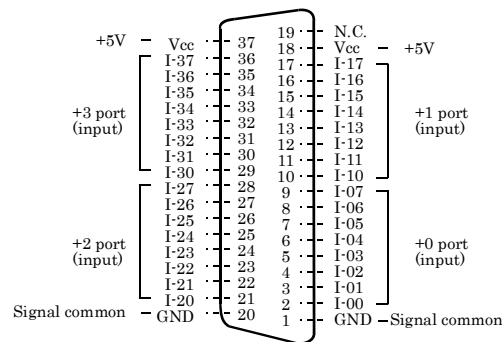
このボードと外部機器との接続は、ボード上のインターフェイスコネクタ(CN1)で行います。



*対応するケーブル・アクセサリは、2頁参照ください。

◆コネクタの信号配置

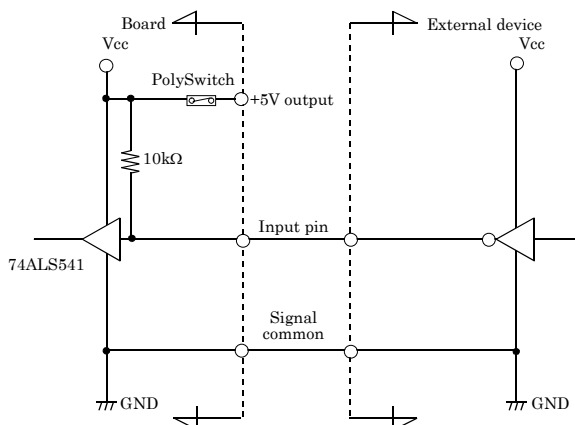
■インターフェイスコネクタ(CN1)の信号配置



I-00 - I-37	入力信号 32 点です。他の機器からの出力信号を接続します。
Vcc	+5V を出力します。供給可能な電流の総容量は、1A です。
GND	信号グラウンドに接続されています。
N.C.	このピンはどこにも接続されていません。

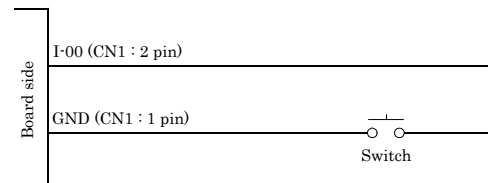
入力信号の接続

◆入力回路



インターフェイス部の入力回路は、左図の通りです。信号入力部に与えられる外部デジタル信号は TTL レベルで、それぞれの入力信号は負論理でパソコン側に取り込まれます。また、それぞれの信号入力部は、内部でプルアップされていますので、リレー接点や半導体スイッチの出力などを直接この信号入力と信号コモン間に接続することができます。

◆スイッチとの接続例



スイッチが「ON」のとき、該当するビットは「1」になります。
逆にスイッチが「OFF」のときは、該当するビットは「0」になります。

* 入力端子は、I-xx です。
ポリスイッチは、全 Vcc(+5V 出力)端子に対して 1 個接続されています。

回路ブロック図

